

## ネットワーク構成

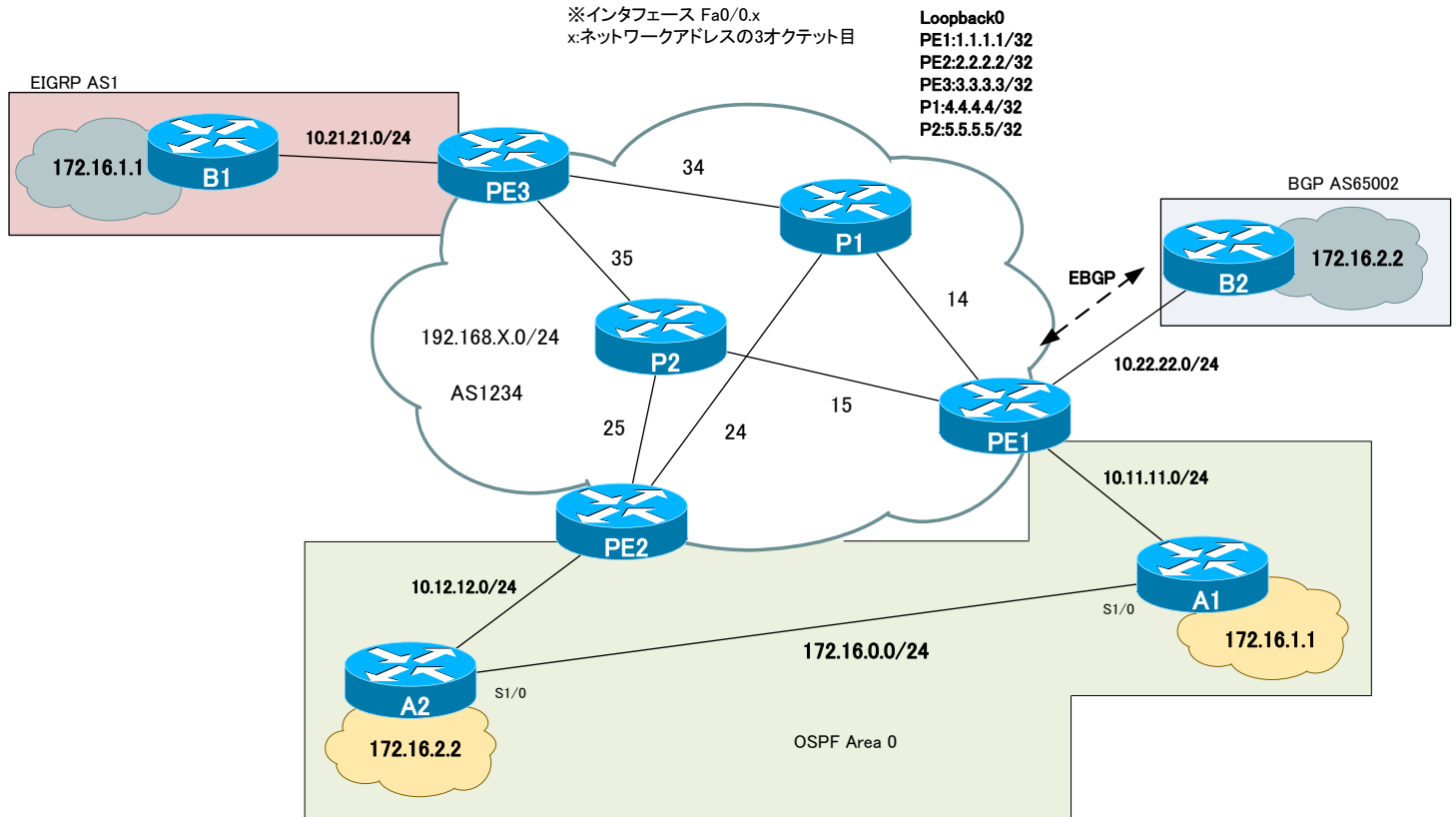


図 1 MPLS-VPN トラブルシュートシナリオ Vol.1 ネットワーク構成

## 通信のポリシー

MPLS-VPN によって、サイト A(A1、A2)間およびサイト B(B1、B2)間の通信ができるようにします。

サイト A の A1 および A2 では OSPF を利用したルーティングを行います。A1-A2 間の通信は、通常 MPLS-VPN 経由で行うようにします。MPLS-VPN が利用できないときは、バックアップ回線(S1/0)経由で通信できるようにします。

サイト B の B1 では、EIGRP を利用します。また、B2 では BGP を利用してルーティングできるようにします。

サイト A とサイト B では、アドレス範囲が重複しています。サイト A とサイト B の通信は確実に分離できるようにします。

## 問題

現在の各ルータの設定では、ポリシー通りにサイト内の通信ができない状態です。必要な設定の修正を行い、ポリシー通りに通信できるようにしてください。

なお、CE ルータである A1、A2、B1、B2 の設定には問題がないものとします。設定の修正は、PE1～PE3、P1、P2で行います。

Dynamips ネットワーク構成ファイル

MPLS-VPN\_TS\_Vol1\_TT.net